

区分・種別	県指定史跡		
名称	まつだいらさだゆき れいびょう 松平定行の霊廟		
所在地	松山市祝谷東町		
所有者	常信寺	管理団体	松山市
指定年月日	昭和26年11月27日		
解説	<p>松山藩松平（久松）家初代藩主、松平定行をまつる霊廟である。霊堂は本瓦葺の入り母屋造、妻入りの建物で、桁行3間、梁間3間あり、三手先出組で唐破風を持つ江戸時代初期の霊廟建築を代表するものである。周囲には菱狭間、連子の唐塀をめぐらしている。前の拝堂は、本瓦葺の入り母屋造で平入り、前面に高欄をつけ、1間の向拝がある。</p> <p>松平定行（1587～1668年）は、徳川家康の異父弟定勝の子で、寛永12（1635）年に伊勢国桑名から松山15万石に封ぜられた。正保元（1644）年から4年間長崎警備を命ぜられ異国船取扱いの任に当たり、内政では、保安上の立場から天守閣の改築をしたり、領内の産業の育成に意を用いたりした。</p> <p>万治元（1658）年家督を定頼に譲り、東野の地に別荘を営み「勝山」と号して移り住んだ。</p>		

